

アルファ技研

3年間メンテナンス不要

水質改善装置 電気分解法を採用

【神戸】アルファ技研 雄社長、078・3335
(神戸市中央区、古澤達・5581)は、工場やビルの大型空調システムに使われる循環水の水質

を改善する装置「エコアイオンII写真」を5月1日に発売する。電気分解法で約3年間メンテナンスが不要になる独自の仕組みを採用し、従来の薬剤処理と代替することで維持コストを大幅に削減できる。価格は1時間当たり200㍓処理する機種で150万円(消費税抜き)程度。初年度600台の販売を目指す。電極に析出する酸化皮膜を自動除去する特許出

願中の技術を導入し、メンテナンス性を高めた。従来は頻繁に電極を清掃する必要があり、電気分解法の普及の妨げになっていた。このため現在は薬剤処理法が主流だが、1時間当たりの循環水量が450㍓の例で年間約170万円程度というコストが課題だった。水質改善効果は技術協力を受けた東邦ガスによる実験で実証済み。今後両社は販売面でも協力するという。1時間当たりの処理能力別に150、200、250㍓の3機種があり、複数台を併設して使用可能。



「エコアイオンII」